

『新薬情報第3弾：HCV（C型肝炎）経口2剤 投与前のHCV変異チェックが無料化！』

肝臓川柳



『遺伝子の 無料の検査に 感無量 』

(感無量…かんむりょう…肝 無料……………ベタですが…汗)

……………ノノノノノ

C型肝炎、肝硬変に対する抗ウイルス経口2剤による治療

(ダクラタスビル(商品名ダクルインザ)、アスナプレビル(商品名スンペプラ))が、全国で爆発的な勢いで行われています。

すでに20000例以上の患者さんに投与開始されたとのこと。

飲み薬だけできわめて高率にウイルスが消失する画期的な治療ですが、いくつか問題もあります。

◆その一つに、以前も紹介しましたがHCV変異の問題があります

治療前にHCV遺伝子の一部「NS5A領域」にすでにY93HかL31M/Nという変異があると治療効果が半減します。当院(福井県)でも約200例で調べましたところ、Y93H変異が12.6%、L31M/N変異が4.1%みられました。これらの変異がなければ、治療効果は98%以上(ほぼ100%)であり、治療前にHCV変異を調べて変異がないことを確認してから治療することが勧められています。

今月から特定の医療機関で無料測定が可能となりました(BMS社負担)

◆もう一つに、前回治療失敗後に出現したHCV変異が最近大きな問題となっています

抗生剤治療と同じで、効果の少ない例にむやみに投与して強い変異を来したためにその後の治療が出来なくなることは避けなければなりません。

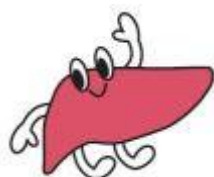
★お知らせ★★★★★

読売新聞の“医療ルネッサンス”で、3月3日より5回にわたり“進む肝炎対策”と題して佐賀県の斬新的な取り組みや新治療の話題が掲載されています。

佐賀大学教授の江口有一郎先生が、3月12日に来福され、

第20回肝疾患診療従事者研修会で講演されます(3月12日午後7時～福井商工会議所)

参加無料です。診療従事者の方はどなたでも(職種問わず)是非ご来場下さい。



これだけ覚えておけば損はない！

今回のポイント

C型慢性肝炎、肝硬変に対する抗ウイルス経口2剤による治療が爆発的な勢いで行われていますが、いくつかの問題もあります。その一つとしてHCV変異の問題なのですが、確実な治療効果に結びつけるためにも治療前にHCV変異を検査することが勧められています。今月より特定の医療機関では無料で測定が可能となりますので、確実に検査を実施していきましょう。

(文：福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ツ俣 和夫)